

第8計;中国人は何故中国人に対し思いやりの気持ちが少ないのか？

—中国は民族も多く・言葉も色々あり、日本語も他省の人の言葉と思っている。—
—文化大革命で宗教が破壊されたからです。儒教には仁愛・仏教には慈愛があります。—

私は人に功德を施せば功德が返ってくると幼少の頃から躰けられてきました。従って、人に思いやりの気持ちで接すれば、思いやりで返ってくるものと思っていました。しかし最近とみに感じることは、日本人でも通じない人もいるが、とりわけ中国人には思いやりが通じにくいということです。

それは、“日本人の思いやり”と“中国人の思いやり”の相違点に原因があるようです。日本人の思いやり表現は曖昧表現です。そつと目立たないように気配りをします。この曖昧（あいまい）表現は日本人には通じるが中国人には通じない。何故なら、中国人は日本文化も知らないし、日本人の価値観も知らないからです。初体験でもあり、答えようがないのです。

中国は民族も多く言葉も色々あり、日本語で話しても、他省の人とされているようです。ただ日本人は出来るだけ相手の立場と心を傷つけないような話し方をします。また日本人は思いやりの感謝に対し思いやりを与えた事を自慢しません。最近中国人と接して、日本人サイドが中国人サイドと比べて非常に損な交流だと思いうように

なりました。

思いやりを示せば、また思いやりを求めてしまうからであります。尖閣諸島問題ではまずビデオの録画を世界発信すべきであったと思います。日本政府は中国に対し政治問題化させずに解決しようとした。ビデオを海外で見る中国人もたくさんいるのだから、嘘は言ってはならないが、事実は公表すべきです。日本の姿勢を世界に見せながら円満解決すればよかったと思います。

日本人の政治家は、“取引”はビジネスの世界で政治は“駆け引き”と考えているようです。ビジネスの世界での国際交流には、秘密にしたければ秘密保持契約をまず結べばよいと思います。そして外交も“取引”として考えるべきで国民に公表して理解をもとめればよいと思うのです。

日本人の思いやりは基本的に“純粹愛”です。“純粹愛”は幅も深さもない、“森の小さな泉”なのです。中国人の思いやりは“損得愛”です。中国人は“損得愛”であるが故に恋愛でも深さを求める。しかし愛の深さの尺度が金銭であると解れば、日本人は交際を断つと思います。日本人には時折無形の愛を持っている人がいます。無形の愛は大海のように広くて深い。死後でも愛するということです。

中国人との交流となると“朝献外交 贈り物・捧げもの外交のこと”が必要になることがあるのです。中国の漢代に（現在の貴州省）夜郎国がありました。“夜郎自大”（漢の時代、皇帝は身毒国（インドのこと）への道を求めて、西南の未開拓部族であるテンに使者を派遣した。テンの王と、その隣国である夜郎（やろう）の王は、漢の使者に「漢とわが国では、どちらが大きいか。」と尋ねた。”夜郎自大”は「井の中の蛙大海を知らず」の意味と同じです。）による産物が“朝献外交”であると思います。

生まれは農村部出身で都市部に住んでいる中国人達は、故郷が洪水で困っている状態をニュースで知ると、ミニバスツアー一隊を形成し救援にむかいますが、都市部の人達は静観しています。



中国人は故郷に対しては愛もあり思いやりもありますが、故郷が違えば思いやり、道教が諭す“仁愛”も、仏教が諭す“慈愛”もないようであります。田舎では乞食は見たことがないが、北京・上海ではとても多い。乞食は職業化しているのかも？

2010/10/16